

支 援

夏季休業中の体験教室/サマースクール/算数教室等開催される

限られた授業時数のなかでは味わえない体験を長期休業中に味わわせたい。また、日ごろ接することの少ない地域の人とふれあう機会をもうけてあげたい。さらには、基礎学力を補う場となればいい。そうした思いから、地域と保護者と学校が連携・協働して子どもたちの活動の場を長期休業中にもうけている学校があります。

今年の夏季休業中にも、様々な体験教室や補習教室が開催されました。その名も、「サマースクール」を筆頭に、「サマークラブ」であったり、「わいわいランド」であったり、「夏休みワクワクスクール」であったりと、子どもたちの興味をひきつけるネーミングとなっています。

内容の点では、子どもたちのニーズに応じて新規の講座を加えてみたり、人気の講座は、看板講座として継続されたりしていることから、学校担当者の創意工夫と苦心がうかがえます。

また、昨今の傾向としては、長期休業中に学習のフォローアップなどの補充学習に取り組む学校が増えているようです。



オレンジリング隊になろう
本町田小・サマースクール



輪投げゲーム
木曽境川小・サマースクール



合気道
南第二小・わいわいランド



ハガキ作り
小山小・きょうみらんど



中国の文字をうちわに書く
図師小・図師っこサマースクール



華道教室
小山田小・サマースクール



手芸
小山ヶ丘小・サマースクール



フラッグ・フット
一小・夏休み体験教室



算数フォローアップ・南第三小



キンボール
小山中央小・サマースクール



補充学習・南中



絵手紙
小川小・サマークラブ

レポート1

小山中央小学校 サマースクール 49講座

VC 山口尚美 遠藤由香里

夏休み中に、前期4日、後期3日のサマースクールが行われました。7年前の開校時、22講座から始まり最高51講座開催されました。今年も、保護者・地域の方による34講座と教職員の得意な分野を生かした15講座が開かれました。

よさこい、味噌作り、うどん作り、押し花、木工作、竹細工、アロマクラフト、万華鏡、ブリザーブドフラワー、バルーンスライム、野球、サッカー、バドミントン、キンボール、紙飛行機、パソコン教室、サレジオ高専でのダンスとデザイン教室。多摩美の学生さんによる砂絵。雑木林での遊び等々。新規でガラスフュージングも行いました。

大勢の子どもたちが体験できるように…と、2回以上開講してくださる地域の講師もいらっシャいます。また、5年前から小山中学校の生徒さんにお手伝いをして頂き、小中の連携にも繋がっています。

そして、本校のサマースクールがこれだけの講座数行われている裏には、教職員のサマースクール委員会が主となり、私たちVCも協力し、講師(講座)の募集から開催までの努力があります。

夏休みだからこそ出来る、豊かな体験の場をつくるために全教職員が協力しあっています。今年も子どもたちと講師からの「楽しかった〜！」の声が聞けました!!

レポート2

「真光寺中サブリ（放課後補充学習）」

真光寺中学校 VC 捧 佐知

真光寺中学校では、「サブリ」と呼ばれる放課後の補充学習を行っています。



昨年までのサブリは、遅刻や忘れ物が多いなどやる気が見えず、ボランティアの先生に対する態度が悪かったり、集中力が続かず途中でトイレに行ったり、眠そうにしていたりという生徒が何人かいて、「どうしたら少しでもやる気になるか」「最後まで集中して出来るか」「教えてくださるボランティアの先生方への態度を正せるか」というのが課題でした。

ところが、今年度は1年生の申し込みが23名ととても多く、2年生から参加したいという子も7名いました。しかも、始まってみると“勉強して帰ろう!”という気持ちで来ている子がほとんどで、ボランティアの先生方とも素直に接している姿があり、とても微笑ましく嬉しく思いました。

勉強しているところを見ていると、わからなくてボランティアさんに丁寧に説明を受けている子、宿題が終わらず頑張って取り組んでいる子、家に帰ると勉強しないので、学校で少しでも勉強して帰ろうとプリントの問題などをどんどん解く子と色々な生徒がいます。したがって、今年のサプリの課題は今までと違い、生徒に合った教材や進め方を考えなければならぬことになりました。



真光寺中サブリ<2・3年生>

真光寺中学校は、ほとんど鶴川第四小学校からしか進学して来ない一校中の学校です。鶴川第四小学校でも「サブリ」という名の放課後学習が3年前から始まりました。鶴四小のサブリは、定員各学年10名で年間15回、算数のみ45分間で、3・4年生の日と5・6年生の日に分けています。ボランティアの先生と子どもは1対2～3人。まず宿題をやって、時間が余ったら用意して

あるプリントをやっていきます。中学校と大きく違うのは、机と机の間に仕切りがあることです。先日見学させていただきましたが、子どもたちはボランティアの先生と一生懸命問題を解き、集中して学習していました。

副校長先生は、「サブリは希望制なので、少しでも勉強を頑張りたいという子が来ている。子どもにやる気がないと力にならない。勉強が嫌いな子を無理やり連れて来てもやる気なければ意味がない。」とおっしゃっていました。サブリが始まった当初は、勉強が出来ない子がいくところと思っている人が多かったと思いますが、今ではすっかり“サブリはやる気のある子がいくところ”になったように思いました。申し込みしても参加出来ないお子さんもいるくらいだそうです。ボランティアの先生が本当に親切で熱心なので、子どもたちも安心して学べるのだらうと思います。

小中両方のサブリに来てくださっているボランティアの先生も多くなっていて、「中学校へ行ってもサブリあるから来てね！」と声をかけてくださっているそうです。調べてみたところ、小学校のサブリに参加していた子は全員中学校でもサブリに来ていました。小学校でサブリが「やる気のある子が勉強するところ」と定着することで、中学校のサブリも違和感なく積極的に参加してくれる子が多くなっているのだと思います。また、数人のボランティアの先生が小学校から継続してきてくださっていることで、子どもたちの特徴をつかんでいること、サプリのすすめ方を知っている子が何人かいるおかげで、中学1年生の最初からサブリをスムーズに進めることができています。



鶴四小サブリ<3・4年生>

これからも小中で情報交換しながら、サブリをより良い形で定着させていけたらと思います。